



農業環境工学関連学会2007年合同大会

学術シンポジウム

新グローバル化のなかの農業知財

- SCM / DCMの文脈化 -

講演

1. 農林水産省知的財産戦略について

松原明紀 農林水産省大臣官房参事官

2. 健全な農業の育成が国を守る

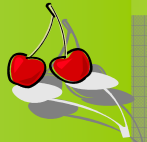
- 医食農工の連携が増えつづける医療費 < 30兆円 > の削減に繋がる -

舘本勲武 デリカフーズ株式会社 代表取締役社長

3. 地域農産物とブランド・商標

正林真之 正林国際特許商標事務所長

パネル討論



日時 平成19年9月13日(木曜日) 14時30分 - 17時

場所 東京農工大学農学部 講堂(300人収容)

府中市幸町3-5-8(京王バス晴見町下車)

主催 日本学術会議農業情報システム学分科会

日本農業気象学会, 生態工学会, 農業情報学会

農業施設学会, 農業機械学会

後援 農林水産省

協賛 東京農工大学

参加費 無料

連絡・申込先 183-8509 府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学部

澁澤研究室 2007学術シンポジウム実行委員会

Fax 042-367-5762

Email sshibu@cc.tuat.ac.jp

終了後、合同大会懇親会(有料)

「農業知財とは、農産物の原料や材料およびその製法と販売にかかわるすべての知識、技法、技術、さらにその仕組みの全体を対象とし、人間活動により新たに創造し付加された部分である。農業知財には、登録品種、商標、意匠、特許、ブランド、GAP (Good Agricultural Practice: 適正農業規範) などの農場管理に関わる各種認証のほか、営業秘密に相当する非公開の篤農技術なども含まれる。」

SCM: Supply Chain Management, DCM: Demand Chain Management